



国民の森林・国有林

# 広報

か な ぎ

No 185

2006.1.1



## 津軽森林管理署金木支署長 岡崎 孝 次



新年明けましておめでとうございます。

平成18年、西暦2006年が穏やかに明けましたが、皆様方のお正月はいかがでしたでしょうか。それぞれのご家庭のおせちを食べながら和やかに過ごしたと存じます。

金木支署は、今年も、地元の皆様のご理解、ご協力を得ながら支署に課せられた業務を精一杯行って参りたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

さて、年頭に当たり、業務の実施状況等につきまして報告させていただきます。概ねの事業は、昨年中に終了してはいますが、ヒバ及びスギの請負生産を2月頃まで実施する予定です。治山事業は、現在、屏風山の北部海岸地域において、消波ブロック、防風柵の設置工事を行っており、また、車力漁港付近と近隣の牧場付近のクロマツ林において、景観維持や森林の健全化のための被害木の整理、弱っている木の除去などの事業を行っています。環境の厳しい冬期間の仕事ですので、災害が発生しないよう事業体と連携を取りつつ進めているところです。

また、昨年は、屏風山に関するCD版森林環境教育資料を作成し、上映会や現地見学会を実施したところですが、このことが地元の新聞に掲載され大きな反響がありました。

改めて、新聞報道の効果が大きいことを実感したところです。今後とも金木支署の存在を地元の方々に知って頂けるよう努めなければならないものと思っております。

年明けの1～3月は、17年度の締めくくりであると同時に、18年度の業務の内容を決定する重要な時期です。支署の概案は既に上司に提出してありますが、これから具体化に向けて

調整が行われます。特に、ヒバの生産・販売については、伐採に関する5ヶ年計画が最終年に当たることから箇所が限られ、減少は避けられない状況です。また、林道の新設については、本年度より少なくなることが予想されます。いずれにしても、支署の実態・資源状況等を十分踏まえて対応したいと考えております。

次に、伐採、林道、治山などの計画が盛り込まれている国有林野施業実施計画の策定に関するのですが、18年度は、19年度以降5年間の計画を策定する年度にもなっています。これまで、次期計画策定のための現地調査等を森林官が中心となり行ってきましたが、新年度早々、その調査結果をまとめた資料を局に提出し、局署連携を図りながら策定することになります。このため、今年1年は大変多忙な年となりそうですが、職員力を合わせて頑張りたいと思っております。

当支署の安全につきましては、着々と無災害を継続しており、昨年12月27日には、当面の目標としてきた3,500日に到達しました。今年も決意も新たに、まず丸10年を達成し、その後も一日一日無災害を積み上げていければと考えております。

昨年は、株価も上がり景気も上向いてきたとの報道がありましたが、木材価格は相変わらず低迷している状況にあり、当地方ではまだまだそのような実感はありません。こうした状況の中ではありますが、金木支署は、今年も明るく、前向きに仕事をしていきたいと考えております。

皆様におかれましても、今年が明るい良い一年となりますよう、併せて皆様のご健勝を祈念し年頭のご挨拶と致します。

## 無災害3,500日達成

平成8年4月3日に公務災害が発生、以来安全第一の原点に立返り災害は絶対に起こさないことを誓って無災害を継続し、17年12月27日をもって3,500日の目標を達成しました。

この間、9年余りにもわたる長期間を職員一丸となり、安全意識の高揚はもちろん、日々積み重ねてきた「類似災害は絶対に出さない」という努力が功を奏したものであり、あらためて職員の努力に敬意を表します。

私が金木支署に参りまして、現場に安全パトロールで出向いた際真っ先に感じたのが、職員全員に他署等で発生した災害について周知徹底されているということでした。

これは、類似災害を出さないために最も重要であり、基本的なことであります。

このことを念頭に、負傷災害はもちろん疾病災害・通勤災害等にも気を付け、今後も引き続き無災害を継続して行きたいと考えておりますので、職員の皆さんにおかれましては、よろしくお願いいたします。

(総務課長 小山内)



安全管理者等による安全会議

「山神」掛け軸



### 「山神」に安全を祈願

12月12日、管内にある十二本ヤスに祀ってある祠に御神酒をお供えして礼拝し、一年間の無事故を感謝するとともに改めて今後の無災害を祈願しました。

山の神の信仰に関しては地域によって多様な説がありますが、昔から管内では、山で伐木作業などに従事する人達が旧暦の12月12日の「山神」には、前日から山仕事を休み、お供え餅などを供えて無礼講で、にぎやかに酒を酌み交わしたものだと言われています。

今では、大きく様変わりをしていますが、新暦の12月12日には毎年支署長以下関係者が安全祈願を行っています。



業務課長とともに

### ◆ 12月の公売結果 ◆

立木 スギ外皆伐(分収育林)約 1,860 ㊦、2カ所を1口として出材しましたが応札無しの結果となりました。

#### 素材(委託販売)

- ・ 12月 7日(青森県木材協同組合)  
ヒバ丸太26口、約380m<sup>3</sup>を出材し、落札は5口、19%となっています。
- ・ 12月 9日(東海木材相互市場)  
ヒバ丸太11口、約15m<sup>3</sup>を出材し、全落となっています。
- ・ 12月15日(岐阜県銘木協同組合)  
ヒバ丸太11口、約14m<sup>3</sup>を出材し、全落となっています。
- ・ 12月21日(青森県木材協同組合)  
ヒバ丸太21口、約335m<sup>3</sup>を出材し、落札は6口、28%となっています。